

始業式式辞要旨 「善行利他之心」

あけましておめでとうございます。

2026年、令和8年、そして午年がスタートしました。

午年は、飛躍や前進を象徴し、活力、成功、勝負運に恵まれる年といわれています。ぜひ皆さんも、草原を駆け抜ける馬のように、目標に向かって力強く前進し、成功をつかみ取ってほしいと思います。

ところで皆さんは、大晦日をどのように過ごしましたか。

私は、神奈川県の息子夫婦のところで年越しをすることになり、大晦日は小さな居酒屋へ連れて行ってもらいました。

その店のコンセプトは「あなたと私」あるいは「あなたと他のあなた」のように人と人とをつなぐ場所になりたい、という願いを込めて「と」という店名にしたそうです。

その店がとにかく素晴らしい。料理が美味しいのはもちろん、全ての店員さんの笑顔が素敵なんですね。その笑顔につられて、こっちも幸せを感じられる、そんな店でした。

その店の様子を眺めていると、「善行利他」という言葉を思い出しました。

善行利他とは、善い行いを他人のために、という意味です。この言葉を大切にして会社を経営していた人で、auを運営するKDDIの創業者稻盛和夫さんは、自分だけ儲ければよいという考えでは、会社はつぶれる。誰かのためにという心で商売をしないとダメだという考えを貫いた人です。KDDIと「と」の規模は全く違いますが、誰かのためにという心は同じ考えなのではないかと感じました。

善行利他と言っても難しく考えることはないんです。明るい笑顔で人と接すること、元気に挨拶すること、これも善行利他之心を大切にした行動です。北部中学校でも生徒一人一人が善行利他之心を大切にして行動していくば、みんなが幸せ、ウェルビーイングを感じられる3学期になるのではないかと思います。

さて、3学期は、往ぬる一月、逃げる二月、去る三月といわれ、あっという間に過ぎ去ってしまいます。時間を無駄にせず、それぞれの目標に向けて努力を重ねましょう。

特に3年生、いよいよ進路選択、決定の時期がやってきました。後悔することがないよう、最善の準備をするように。頑張ってください。